

令和元年度補正予算

●一般会計補正予算：可決

関戸議員：アートギャラリーに関する予算では、根拠を示す資料の提出はおかげで質疑に対しても入札にかかわるとの理由で明確な答弁がなかつた。十分な説明責任を果たすべき。反対。

山野井議員：市民の歌作成業務委託料が計上。市民の思いが込められた作品になるよう進めてほしい。プロモーション活動にも期待。賛成。



改良工事予定の道路 (米ノ井地先)

染谷議員：映像制作、市民の歌作成等は実行委員会に意見を聞き、多くの皆さんに喜んでいただける市制50周年記念事業にしていただきたい。賛成。

飯島議員：市内特産品販路開拓促進事業では、「ちょうどいい」へ11月に特産品を出品販売し、PRを行う。

また、わくわく取手生活実現事業補助金は、都心から市内への移住、就業、創業者が増え、取手の活力につながることに期待。賛成。

小堤議員：米ノ井弁財天の道路改良工事は、昨年、一般質問で取り上げた場所。相互通行が危険な狭い道路で、医師会病院への救急搬送に影響があつた。これを解消することは大変意義あること。賛成。

吉田議員：道路整備事業により生活道路の整備が着実に進むことは、さらに住みよく、安全で安心して暮らせる町につながる。市民がより幸せに過ごせる町づくりを賛成。

池田議員：多子世帯保育料軽減事業補助金など、大切な予算が計上されている。市民アートギャラリーによる経費の9500万円は多くの議員が高いと感じたが、付帯決議案も出されており。賛成。

※付帯決議とは：事件の議決に当たり、議会が当該事件に付隨的に付ける意見又は要望の決議のこと。

議員提出議案

付帯決議

●令和元年度一般会計補正予算に対する付帯決議：可決

染谷議員：厳しい財政状況の中、アートギャラリー整備事業だけが高額と感じ止め、事業執行に対し、さらなる経費の節減を求める。賛成。

吉田議員：厳しい財政状況の中、アートギャラリー整備事業だけが高額と感じ止め、事業執行に対し、さらなる経費の節減を求める。賛成。

5月24日に臨時会が開催され、市長から提出された案件のうち、次の討論がありました。
【改正内容】いじめ問題専門委員会等で迅速かつ適切に事案に対応するため、個別の案件に応じて臨時委員会を委嘱できる体制の整備。

金澤議員：いじめの初期段階からしっかりと把握をしているため、学校からの報告によるいじめの認知件数

第1回臨時会審議案件

議案第44号 令和元年度取手市一般会計補正予算（第3号）に対する付帯決議

議案第44号 令和元年度取手市一般会計補正予算（第3号）において、アートギャラリー整備事業に要する経費として施設整備負担金（工事）が計上されている。

これは、取手駅前のボックスヒル取手店4階の一部にアートギャラリー施設を整備するための工事費の負担金である。その執行に当たっては、下記の事項に十分留意するよう強く求めるものである。

記

1. 工事負担金は今回の補正予算計上額を上限とするとしているが、多額の経費が投資されることから、工事協定締結後においても、アートギャラリー整備においては、受託者に全面的に任せることなく、双方が連携を図りながら経費の節減に努めること。

2. 茨城県取手地区の活性化及び発展に向けた連携に関する協定書（以下、4者連携協定書という）に基づき、4階フロアで行う事業内容を早急にまとめ、市民に対し積極的に事業説明を行うこと。

3. 4者連携協定書第2条(1)を実現するため、4階フロアの整備と並行して取手駅周辺の活性化のための具体的な方策を検討し、「アートの街取手」を実現、発信していくこと。

以上、議案第44号に対する付帯意見として決議する。

令和元年6月14日

茨城県取手市議会

市議会と国会の議席

5月24日の臨時会において、議席の変更が行われました。議席の指定方法はそれぞれの議会によって取り決めがされていますが、取手市議会では「議員在職期間の短い者等から順次指定する」といった申し合わせがあり、過日の市議会議員補欠選挙により当選した金澤克仁議員は11番に、佐藤隆治議員は16番に議席が決定しました。（現在の取手市議会議席：下図）

ちなみに国会での議席は政党ごとに範囲が決められています。国会と市議会、同じ「議会」でもいろいろなところに違いがあります。ぜひ市議会を傍聴に来て、そんな違いを見つけてみてください！

15番 吉田	16番 佐藤(隆)	17番 入江	18番 阿部	19番 結城	20番 齋藤	21番 佐藤(清)	22番 赤羽	23番 遠山	24番 加増
7番 関戸	8番 渡部	9番 石井	10番 飯島	11番 金澤	12番 細谷	13番 山野井	14番 染谷		
1番 関川	2番 小堤	3番 小池	4番 岩澤	5番 落合	6番 池田				

議長席

【改正内容】いじめ問題専門委員会等で迅速かつ適切に事案に対応するため、個別の案件に応じて臨時委員会を委嘱できる体制の整備。

●一般会計補正予算：可決

●国民健康保険税条例の一部改正の専決処分：承認

【改正内容】地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の基礎課税額に係る賦課限度額の引き上げおよび被保険者均等割額、世帯別平等割額を軽減する所得判定基準の拡大。

小池議員：法定減免額の大はよいことだが、最高限度額の引き上げには反対の立場。安定的な高所得世帯ばかりでないことや、世帯合算など、状況、実態を把握してもらいたい。反対。

斎藤議員：低所得者や子育て世代が対象となるプレミアム付商品券事業は認められない。反対。

スムーズに商品券を使用できよう願う。賛成。

池田議員：学校カウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託は、教育委員や教